



Title	ロリィタファッションに関する研究 : インタビューとアンケートを中心に
Author(s)	坂田, 彩美
Citation	デザイン理論. 2017, 69, p. 48-49
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/65014
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ロリィタファッションに関する研究 — インタビューとアンケートを中心に —

坂田彩美／武庫川女子大学大学院博士前期課程

1. はじめに

ロリィタファッションは日本のストリートファッションである。身頃はタイトフィット、スカートはパニエで大きく膨らませたシルエットにリボンやレースで過剰ともいえるほど装飾を施した姿が特徴的なスタイルである。日本国内ではこのロリィタファッションのみを取り扱う雑誌が出版されたり、日本国外でもイベントが催されたりしており、国境を越えて注目されているファッションである。一方で、この特徴的な外観ゆえ、誕生から数十年が経つにも関わらず特殊な装いであることやコスプレの一つとして捉えられることも少なくない。しかしながら着用者にはそういった意識はないと推測される。本研究ではロリィタファッション着用者と着用しない人の間にあるものを探っている。今回の学会発表は主にロリィタファッション着用者へのインタビュー調査と着用しない人へのアンケート調査を中心に行った。

2. ロリィタファッションの背景

ロリィタファッションの起源は1980年代に日本でブームになったロマンティックファッションであるとする説が有力である。しかし、ロマンティックファッションとロリィタファッションはシルエットが大きく異なることから本研究ではこの2つのファッションは別のものであり、関係ないとは言い切れないが起源とするには根拠が不足していると考えられる。

次に注目したのはロリィタファッションの語源であるウラジミール・ナボコフの小説

「ロリータ」である。ロリータはこの小説のヒロインであるドロレス・ヘイズの愛称である。この「ロリータ」がロリィタファッションの語源であるとしているが、小説の内容とは無関係であるとの見方が強い。しかし、ヒロインであるドロレスの服装描写がロリィタファッションに似ていることが確認できたため、無関係であるとは言えない。今後映像資料などで確認を行いたい。

3. インタビュー調査

本研究では、報告者の知り合いを中心にロリィタファッション着用者にインタビュー調査を行った。現在20歳代6名、10歳代2名の8名に実施した。インタビューの方法は報告者と調査対象者の1対1の対面で会話をする形式で行った。会話の内容は調査対象者に許可を取り、ボイスレコーダーで録音した。

調査対象者に共通点する点として「自分自身がロリィタであることを強く意識している」「コスプレだとは思っていない」「ロリィタ服の値段を高いという認識はある」「奇抜な格好をして目立ちたいという意識はない」などが挙げられる。さらに、人と会う予定がある場合、ロリィタファッションを着てもいいか相手に確認することもあるとわかった。また、異なる点としては「ロリィタファッションを着ていない時のファッション」「ロリィタファッションに対して思想的な部分がある人となない人がいる」などがあった。今後も着用者へのインタビューを続けると同時に、ロリィタファッションの着用をやめてしまった人へのインタビューが実施できれば着てい

る人のことがもっとわかるのではないかと考えられる。

4. アンケート調査

アンケート調査は本調査へ向けて傾向を掴むために少数で予備調査を行った。

・対象：武庫川女子大学学生寮「堅忍寮」寮生

・回収数／配布数 = 43／87（回収率：49.4%）

・実施時期：2015／12／3～2015／12／7

質問内容は回答者自身のファッションに対する意識やロリィタファッションに対する意識を問うものである。このアンケートから、ロリィタファッションを着ない人は自分自身が何を着ているのかをそれほど意識していないことが読み取れた。また、ロリィタファッションは個人の自由であり、着ている人に対して敵意を持っている様子はないことがわかった。しかし、今回のアンケート調査では対象の年齢が狭く、性別も女性ばかりであり、またロリィタファッションを見慣れているというバイアスがかかっている。本調査では対象の年齢を広げ、さらに男性も調査対象にしたい。

5. インタビュー調査とアンケート調査のまとめ

インタビュー調査とアンケート調査から、ロリィタファッション着用者にとってロリィタファッションはこれを身につけて日常を過ごすものであるが、ロリィタファッションを着ない人にとっては「普通ではないもの」という意識があるというずれがあった。また、ロリィタファッション着用者は自分自身が「ロリィタである」ということを強く意識していることに対して、ロリィタファッションを着ない人は自分自身が何を着ているのかをあまり意識していないという差があることが

わかった。アンケート調査を通してわかったこととしては、今回の調査対象の範囲ではロリィタファッションは好奇心をいだけ対象ではあるが迫害の対象ではなく、着用者は必要以上に着ない人にどう思われるのか警戒し過ぎているのではないかということがわかった。

6. まとめ

本研究ではロリィタファッションについて、ロリィタファッションの歴史や語源などを調査しながらも主にロリィタファッション着用者とロリィタファッションを着ない人の意識の部分に注目して調査を行っている。今回の学会発表ではロリィタファッション着用者へのインタビュー調査とロリィタファッションを着ない人へのアンケート調査の予備調査から現在わかっていることを報告した。ロリィタファッション着用者は自分自身がロリィタであることを強く意識しており、奇抜な格好をして目立ちたいという意識はないと語っている。アンケート調査からは、ロリィタファッションを着ない人の多くは自分自身が何を着ているのかを意識していないことが多かった。ロリィタファッションに対してはロリィタファッションやロリィタファッション着用者に興味を持つことはあったが否定的な意見は見られなかった。

今後もインタビュー調査を続け、ロリィタファッションの着用をやめてしまった人の声も聞きたい。また、ロリィタファッションを着ない人へのアンケート調査も質問項目を見直し対象を広げて実施したい。